

超住民参加！町営ケーブルテレビを活用したつながりと活躍の場づくり（鳥取県大山町）

取組概要

出演者から裏方まですべて住民による「超住民参加型テレビ」

お荷物とされた町営ケーブルテレビを住民・民間企業と連携し、地域創生のプラットフォームに大改革。企画、司会、ナレーター、レポーター、撮影、編集まで住民主体の番組づくりで、住民の活躍の場や新たなつながり、雇用や生きがいを生み出している。

取組の効果

- ◆誰も見なかった町営テレビの満足度が60%に！
- ◆行政情報や地域課題が「ジブンゴト」に！
- ◆情報発信&クリエイティブ人材が続々誕生！

創意・工夫した点

「住民のために何をするかでなく  
住民に何をしてもらうか」

他団体へのアドバイス

「内充拡大」  
“外”から人を呼んで来なくても“内”  
の人が充実・活躍し始めると  
地域は活気づき、自然に人も集まる

人口 16,528人 (H30.1.1現在)

担当 企画情報課



住民トークバラエティ  
「まちづくり その手があったか」



カメラの撮影練習に励む住民たち